

学芸発表会 ~その1~

10月28日(土)に学芸発表会が行われました。二週間前に練習が始まり、準備不足が心配されましたが、当日は堂々とした発表ができました。短期間の練習で生徒たちは本当によく頑張りました。また、ブース発表では、職場体験の学習発表会よりも数段レベルアップしたのを見ることができました。以前、プレゼンテーション講習にきていただいた竹内さんや生徒同士のアドバイスを参考にして、発表前にパワーポイントや原稿の修正を行いました。その結果、当日の素晴らしい発表につながりました。来年もさらに良い発表をご期待ください。

革新と誇り 開けろ！芸術の扉



ビデオレターが届きました！

ブース発表で生徒が発表していた「ベトナムのリエンフォン小学校から届いたビデオレター」のURLをお知らせします。よろしければ、ご自宅でご覧ください。また第2学年では、11月10日(金)の5、6時間目に国際理解教育を行います。昨年度、本校にきていただいたアジア教育友好協会の山川 香さんが今年度も来てくださいます。ベトナムのリエンフォン小学校とのつながりができたことを機会に、これから自分たちができることを考えていきたいと考えていきます。

ビデオレターのURL https://youtu.be/CYLV0i_uCL4

学芸発表会の感想文

「大切なもの」

最初に私が舞台発表に選ばれたときは、本当に自分ができるのだろうか、とても不安だった。しかし、その不安は、同じく舞台発表に選ばれた さんや さんと練習をしているうちになくなっていった。理由はいくつかあるが、その中で一番助かったのは、三人でアドバイスをし合ったことだと思う。自分にはわからない間違いやわかりにくい表現などをおさえておくことによって自信がついた。パワーポイントにも工夫を加えることができた。二つ目は、どこをどうすれば時間内に入るかということ先生と発表組で話し合うことも大切だった。アドバイスをもらい、発表原稿に取り入れようとする、とどんどん時間が長くなる。どこをカットすればよいかを自分で考えることはとても難しいため、他の人の意見がとてもありがたかった。また、他の二人も、カットし過ぎると少し意味がわからなくなったりしてしまうため、とても悩んでいた。ここを変えるとここが・・・という風に矛盾点が多くでてきてしまい、話し合いも長くなったりしたが、そのおかげでわかりやすい原稿になった。このようにして、三人で工夫したりアイデアを出し合うことで、良い原稿とわかりやすいパワーポイントができた。

しかし、私たちの発表組は、舞台の発表だけでなく、展示発表でも国際理解の発表がある。その原稿は自分たちではなく、司会の人たちが作ってくれたため、覚えるだけだが、ユーチューブなどを使うため、どのくらいの時間配分になるのかなどがわからなかった。原稿が渡されたのは前日のため、確認する時間がなかった。私は最初の発表担当だったため、その後に発表する二人に情報を伝えるということにして、本番を迎えることになった。

本番では、少しやり忘れたことがあったが、そこまで早口にならずにできていたと思う。また、国際理解もしっかりと発表できた。それだけではなく、プロの方からもほめて頂きアドバイスまでもらったので、次に発表するときのために、しっかりと覚えておきたい。

文林学芸発表会で、私は自分の発表のことで他の人の意見やアドバイスを取り入れるということが大事だと思った。また、この技術はいいなと思ったものは、次回に使えるよう覚えておくなどしてより良いものをつくれるようにしたい。これからの発表では、他の人の意見、技術を取り入れることを大切にしていきたい。

チャレンジお菓子の株式会社

第2学年は、11月11日(土)の1、2時間目に「チャレンジ！お菓子の株式会社」という出前授業を行います。授業の中で、生徒のグループ(会社)で考えた新しいお菓子をお互いに発表し、会社を応援するために投票(投資)をしてもらう場面があります。保護者の方もご参観の際には、是非、投票(投資)をお願いします。

